

近畿大学生協 新学期に向けた取り組み ~2023夏~



[新学期]

取り組み概要

日時：各項目を参照
場所：近畿大学生協 CLICK 等
組合員の反応：ヒアリング参加_約15名
ガリガリ君配布_約5000個 (10月5日時点)

背景や概要：新学期準備を早期から実施する会員は数多くあります。今回は、近畿大学生協の新学期準備に関する取り組みについて、ご紹介します。

職員・学生委員が一体となつて！

POINT.1 新入生ヒアリング (5月)



この取り組みでは、新しく学生委員となった1年生を主な対象として、「近大生協をどこで知ったか」や「チラシの目立ち具合」「PC購入時に困ったこと」など、事業的な部分に関する質問や、「入学するまでに不安だったこと」など生活自体に関する質問まで、幅広く聞き取りを行っていました。実際に新入生に聞くことを通して、新入生・組合員の実態把握に役立てられる取り組みとなっていました！

POINT.2 “3 会員合同” の新学期会議 (6月～)

2023年現在、近畿大学生協の専務理事は3会員の専務を兼任しています。そこで、各会員の業務責任者、リビング事業部やブロック / コープ共済連の職員、近大GIが集まり、新学期活動の情報共有・協議を行う場がこの会議です。基本的には職員メインですが、GIの活動状況の報告や、事業の方向性や方法に対して学生委員から意見する場面もあるなど、職員と学生が協同で進められている会議となっています。



POINT.3 オープンキャンパスでアイス配布 (7月～9月)



近畿大学生協は、夏のオープンキャンパスでアイスを配る取り組みを実施しています。アイスをもらうためには、学内で近大GIが配っているチラシを受け取り、そこに印刷された二次元コードからアンケートに回答する必要があります。チラシはオープンキャンパスに参加している受験生や高校生が受け取るので、アンケートへの回答によって近畿大学生協を知ってもらう機会を作ることができます。オープンキャンパスという場で、将来の近大生とのつながりを作るための工夫といえますね！

